

令和6年度 茨城歯科専門学校 学校評価報告書

公益社団法人茨城県歯科医師会立 茨城歯科専門学校
自己評価委員会 委員長 大字 崇弘
学校関係者評価委員会 委員長 横須賀 義章

公益社団法人茨城県歯科医師会立 茨城歯科専門学校 自己評価委員会ならびに関係者評価委員会は、令和6年度の学校評価を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

(令和7年6月10日)

【4段階評価基準】

(3.6～4.0) — 「良い」、 (3.0～3.5) — 「まあまあ良い」
 (2.0～2.9) — 「要注意」、 (1.9 以下) — 「要改善」

評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者 評価点	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	学校の教育理念・目的・育成する人材像は定められているか	3.9	◎自らが学ぶ力を培い、臨床の場での応用力やコミュニケーション能力を発揮できる人材の育成を目指している。令和4年度からアドミッションポリシーとディプロマポリシーを策定している。	4.0	歯科医療の高度化や他職種連携の社会的要請にこたえ得る力を育成する学校運営を目指す。
②	社会の動向を踏まえニーズに沿った教育を行っているか	3.6	◎歯科技工士科においては、外部講師を招き CAD/CAM等の先端技術や特殊な技能を有する実習を取り入れている。また、歯科衛生士科では、介護を必要とする高齢者や障害者に対応できる知識と技術を身につけるために、専門分野での障害者歯科学や高齢者歯科学の授業とともに、実際の介護技術を学ぶ実習（介護技術指導）を行っている。「介護職員初任者研修」の終了認定を受けることが出来る。	3.7	

③	学校の教育理念・教育目標・育成する人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.5	◎学校の教育理念・目標等は教職員間で共有しており、学生・保護者へは、学生便覧・学則を配布し、説明を行っている。また、学校内外の会議やイベント、ホームページ等を通して、学校外へ教育理念等の周知を図っている。県内の高校訪問時には、教育方針・育成する人材像について高校進路担当教員等に、より深く理解していただくように努めている。	3.7	
---	---	-----	---	-----	--

(2) 学校運営

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者評価点	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.9	◎本校は、公益社団法人茨城県歯科医師会を運営母体としており、「公益社団法人茨城県歯科医師会定款」、「茨城歯科専門学校学則」等に基づき設置運営している。	3.8	
②	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.6	◎事業計画は、各科の提案を受け「教務打合会」で協議し、「講師会」及び「学校運営委員会」で審議決定される。学則の変更等の重要事項は、最終決議機関である「公益社団法人茨城県歯科医師会理事会」で審議決定される。	3.7	
③	組織体制について、運営組織や意思決定機能は、明確化されているか、有効に機能しているか	3.4	◎「教務打合会」・「講師会」・「学校運営委員会」・「公益社団法人茨城県歯科医師会理事会」は、常に情報を共有し、諸課題に迅速な対応を行っている。	3.7	

④	人事、給与に関する規程・コンプライアンス体制等は整備されているか	3.9	◎人事・給与・コンプライアンス体制等に関しては、公益社団法人茨城県歯科医師会職員規程に定められている。	3.7	
⑤	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.9	◎学校評価（自己評価・学校関係者評価）及び学校情報と教育活動については、ホームページ等を利用して随時公開している。	4.0	

(3) 教育活動

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	評価項目		学校関係者 評価点	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.6	◎教育課程は、養成所指定規則に基づいた授業時間数を十分に確保し、学生が実技教育を理解しやすいよう、講義を先行して知識を学び、その後、実習を通して理解を深められるように編成している。令和6年度、歯科衛生士科では、1学年より新教育課程を実施。	3.8	外部評価・第三者評価表を整備する。
②	教育理念、育成する人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.6	◎各授業科目の位置付けや進捗状況は、シラバスで適宜確認し、見直しを行っている。	4.0	
②	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立った教育課程や教育方法の工夫-開発などが実施されているか	3.5	◎臨地実習は、それぞれの施設の特徴を生かした実習を体験させ、より実践的な力と応用力の修得を図っている。今年度、病院実習の充実と連携強化を図るため、新たに2病院を追加登録した。	3.8	
③	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、教育課程の作成見直し等、外部による評価が行われているか	3.8	◎臨地実習講師会を設け、実習指導者及び実習指導施設からの学生の受講状況の報告や学校への意見・要望を参考に、適宜、実習内容の見直しを行っている。	3.8	
⑤	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.6	◎授業アンケートの実施によって、授業内容、学生の理解度の把握に努めるとともに、教員自身によるシラバスの見直しを行っている。	3.5	

(4) 学修成果

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者 評価点	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	資格取得率の向上が図られているか	3.6	◎職業教育であるため、資格取得が前提である。令和6年度本校卒業生の歯科技工士国家試験合格率は100%、歯科衛生士国家試験科においても全国平均以上の結果であるが、今後も個別指導を含めた国家試験対策授業を充実させ、合格率の向上を図る。	4.0	両科とも国家試験全員合格を目指す。 個別面談・保護者面談等を十分に行い、個に応じた指導を徹底する。 指定校・公募推薦で入学してきた学生が退学した場合は、高校に対して退学理由等を報告する。
②	退学率の低減が図られているか	3.3	◎退学率の低減のために学業不振、欠席の多い学生に対しては担任による個別指導、保護者との緊密な連絡、学生と保護者を交えた面談を実施するなどの対策を講じている。今年度の退学率は3.1%であり、昨年度と同率であった。	3.8	
③	就職率の向上が図られているか	3.9	◎就職率については、学生数を十分に上回る求人が寄せられており、就職希望者は、100%就業している。	4.0	
④	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3.1	◎国家試験が不合格であった卒業生に対しては、自習室の開放及び国家試験対策授業に参加させ、資料の配付、模擬試験等を実施し、資格取得を支援している。歯科衛生士科令和5年度既卒者1名合格(受験者1名) ◎社会で活躍している卒業生には、非常勤講師や特別講演の講師を依頼し、後輩の育成に協力いただいている。	3.3	

			◎卒業後、卒業生が同級生だけでなく、先輩と後輩とが情報交換の場として同窓会（歯科衛生士科：真珠会、歯科技工士科：みわ会）を活用している。		
--	--	--	--	--	--

(5) 学生支援

4段階評価 (適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1)

No	評価項目	自己評価		学校関係者評価	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4.0	◎就職に関する支援体制は、担任による進路相談や無料職業紹介事業の職業紹介業務運営に基づき、就職指導担当者が就職希望地域やキャリア形成のための助言を行うなど個々の状況に応じた支援を行っている。 ◎学生の就職意識を高めるため、ハローワーク就職支援ナビゲーターを招いての就職セミナーを7月に実施。また、事業所が一同に求人のプレゼンを行う就職ガイダンスを8月と1月の2回実施した。	4.0	今後は、個別の相談窓口の設置等スクールカウンセリングの充実が必要である。 従来からの日本学生支援機構や自治体の奨学金制度の案内を行うとともに、「高等教育の修学支援新制度」を周知する。
②	学生相談に関する体制は整備されているか	3.4	◎学生相談に関しては、入学時または定期的に担任が個別面談・ヒアリング行うとともに、日頃から声掛けを行っている。また、専門家によるカウンセリング特別授業を実施している。	3.7	
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.8	◎高等教育修学支援制度の対象校に認定され、専門実践教育訓練給付制度やその他の奨学金制度とともに学生・保護者に周知することで、学費負担の軽減を図っている。利用者は毎年増加している。 ◎学業、人物ともに優秀な学生に対し、勉学奨励を目的として、褒賞金を支給している。	4.0	

④	学生の健康管理を担う組織学生支援体制はあるか	3.4	◎学生の健康管理については、毎年総合健診協会による健康診断と歯科検診の実施により、学生の健康状態の把握と疾病への迅速な対応を行える体制を整えている。また、インフルエンザ予防接種に係る補助金を支給している。	3.8	
⑤	保護者と適切に連携しているか	3.5	◎保護者会を開催し、保護者とのコミュニケーションを図るとともに、「学校だより」を送付することにより学校行事等の情報を伝えている。	3.8	

(6) 教育環境

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者評価	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるようになっているか	3.6	◎施設・設備・教具は、より良い教育環境の中で学習できるよう計画的に整備しているが、今後遠隔授業を効率的に取り入れていくために、さらなるネット環境等の整備拡充が必要である。 ◎図書室をより活用し易くする為、蔵書の整理と書棚等の配置を変更し、広く利用出来る空間を確保した。 ◎臨地実習に関する実施要項・マニュアル等を作成し、成績評価基準を明確にし、教育体制を整えている。 ◎大規模災害や火災に備え、避難訓練を年1回実施。災害対策マニュアル、非常用備蓄品、緊急連絡網（教員・学生）を整備し、必要に応じて見直しを行っている。防火管理責任者も配備、消防施設点検も年2回行っている。	3.8	図書室の環境整備を行い、より活用し易くする。 施設整備について、安全点検を実施し、状況の把握に努める。
②	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3.6		3.7	
③	防災、安全管理に対する体制は整備されているか	3.5		3.8	

(7) 学生の受入れ募集

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者評価	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	学生募集活動は、適正に行われているか	3.8	◎学生募集活動は、養成所指定規則、養成所指導ガイドライン、学則、個人情報保護法の遵守ならびに文部科学省からの各種法令・通知を守り適切に行っている。 ◎高等学校訪問は、進路アドバイザーと教職員を中心に行っており、本校の入試説明及び高等学校の先生方と情報交換を行い、信頼関係を深めている。 ◎高等学校の進学相談会は、生徒と直接話すことが出来る機会なので積極的に参加している。 ◎入学者選抜について、指定校推薦入学試験、公募推薦入学試験、一般入学試験 3 回を合わせて 5 回の入学試験を実施した。令和 7 年度の日程は、指定校推薦入試 1 回、公募推薦入試 2 回(社会人自己推薦を含む)、一般入学試験 4 回の合計 7 回を予定している。	4.0	高校訪問において、各奨学金制度の予約採用の案内を行い、学費負担の軽減をアドバイスする。

	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.8	◎オープンキャンパスや外部への広報の伝達については、パンフレットやホームページ、その他広報媒体を通じて行っているが、今後は、SNSやオンラインでの対応も含め、最新の情報を正確にわかりやすく伝えるさらなる工夫が必要である。 ◎本校ホームページ及びパンフレットに国家試験の合格率・就職状況を掲載している。 ◎オープンキャンパスは7回、ナイトオープンキャンパスは9回実施したが、参加延べ人数は138名で昨年度よりやや減少している。	4.0	令和7度のオープンキャンパスは、高校生、社会人が参加しやすい土日の開催を増やす。
②	高校・高等専修学校 等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	3.0	◎キャリア教育・職業教育の授業に係る講師派遣の依頼があった高等学校に対し、「歯科衛生士・歯科技工士の仕事について」の講義と体験授業を実施している。（令和6年度2校）	3.3	
③	学納金は妥当なものとなっているか	4.0	◎学納金に関してはできるだけ無駄を省き、徴収した入学金、授業料、実習費が学生個々へ効率的に還元できるよう常に努力しているが、教科書代、実習教材費、ワクチン接種料の値上げにより全体の負担は増加している。	4.0	

(8) 財務

4段階評価(適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1)

No	評価項目	自己評価		学校関係者評価	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3.1	◎歯科技工士科、歯科衛生士科とも入学予定者数が定員数を下回る状況であり、学生募集活動の充実・退学者の低減・支出等の見直しを行い、さらなる財政基盤の安定化に努める必要がある。	3.2	定員の充足を目指し、学校経営の安定化を図る。 日常的な経費節減を行い、各事業予算の適正化を検討する。
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.5	◎予算・収支計画については、各部署が次年度に必要な物品等の要望を事務局に提出し、事務局が集約して担当役員の決裁を仰ぐ。担当役員は、内容を精査した上で、理事会に最終予算案を提出し、決議を経て次年度予算が執行される。	3.7	
③	財務について会計監査が適正に行われているか	4.0	◎財務については、公益法人会計基準に則り、公認会計士の指導の下に適正な運用を行っている。定例監査は本会監査規程により年4回実施し、毎年6月の定時代議員会において監査報告を行っている。	4.0	
④	財務情報公開の体制整備はできているか	3.9	◎財務情報の公開については、公益認定法に基づき情報開示を行うこととし、本会ホームページに財務諸表等を掲載することで、常時閲覧が可能な体制を整えている。	4.0	

(9) 法令等の遵守

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者評価	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.9	◎専修学校設置基準及び養成所指定規則、その他法令等を遵守し、適正に運営している。また、申請、届出についても所管先に遅滞なく行っている。	4.0	
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4.0	◎全ての役員、教職員、講師が個人情報に関する法規範を遵守し、個人情報保護に関する基本理念を実践するために、公益社団法人茨城県歯科医師会として個人情報保護規程を定めている。 ◎学生については、入学時に「個人情報に関する誓約書」の提出を求めている。また、特に臨地実習を実施するにあたっては、事前に個人情報の取り扱いについて十分注意するよう指導している。	4.0	
③	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.9	◎自己評価については、専修学校における学校評価ガイドラインをベースに、自己点検・自己評価を実施し、問題点を洗い出している。	3.8	
④	自己評価結果を公開しているか	4.0	◎ホームページで公表するとともに基本情報は最新情報に更新している。	4.0	